

• 提出の際は、参考例の水色の文字はすべて消してご記入ください

平成 29 年度

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(疾患特異的 iPS 細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム)

提案書等の提出書類は全て「PDF」ファイルに変換し、アップロードして下さい。原本はお手元で保管下さい。

研究開発提案書

研究開発提案課題名（公募課題番号）

△△△△の創出を目指した研究

代表機関名

〇〇〇〇大学

機関代表者名

〇△ 〇□

Summary of Proposal

*** Please limit this “Summary of Proposal” form to two (2) pages.**

1. Project title

Nam eu lorem congue tortor volutpat scelerisque quis aliquet augue. Phasellus non dui id metus facilisis tincidunt

2. Principal investigator

- Name Hanako Iryou
- Researcher ID (8 digits) XXXXXXXXX
- Date of birth 19XX / XX / XX (YYYY/MM/DD)
- Affiliation ZZZZZZ University
- Department Department of YYYYYYY
- Position title Professor
- E-mail address ZZZZZZ@YY.jp

3. Abstract (400 words maximum)

Outline your research proposal, mentioning the anticipated results, in 400 words or less.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Mauris vel tellus faucibus, iaculis elit quis, semper lectus. Nam ac odio at enim congue malesuada id nec dolor. Etiam dignissim varius orci, id sodales diam volutpat eget. Vestibulum scelerisque posuere dolor id scelerisque. Quisque euismod dignissim felis non blandit. Integer lobortis libero finibus eros interdum consequat. Cras non nunc ultrices, tempus odio eu, fermentum tellus. Quisque sem massa, venenatis a purus eget, bibendum sollicitudin ante. Duis consectetur lobortis augue, at venenatis arcu gravida nec. Nam eu lorem congue tortor volutpat scelerisque quis aliquet augue. Phasellus non dui id metus facilisis tincidunt.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Mauris vel tellus faucibus, iaculis elit quis, semper lectus. Nam ac odio at enim congue malesuada id nec dolor. Etiam dignissim varius orci, id sodales diam volutpat eget. Vestibulum scelerisque posuere dolor id scelerisque. Quisque euismod dignissim felis non blandit. Integer lobortis libero finibus eros interdum consequat. Cras non nunc ultrices, tempus odio eu, fermentum tellus. Quisque sem massa, venenatis a purus eget, bibendum sollicitudin ante. Duis consectetur lobortis augue, at venenatis arcu gravida nec. Nam eu lorem congue tortor volutpat scelerisque quis aliquet augue. Phasellus non dui id metus facilisis tincidunt.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Mauris vel tellus faucibus, iaculis elit quis, semper lectus. Nam ac odio at enim congue malesuada id nec dolor. Etiam dignissim varius orci, id sodales diam volutpat eget. Vestibulum scelerisque posuere dolor id scelerisque. Quisque euismod dignissim felis non blandit. Integer lobortis libero finibus eros interdum consequat. Cras non nunc ultrices, tempus odio eu, fermentum tellus. Quisque sem massa, venenatis a purus eget, bibendum sollicitudin ante. Duis consectetur lobortis augue, at venenatis arcu gravida nec. Nam eu lorem congue tortor volutpat scelerisque quis aliquet augue. Phasellus non dui id metus facilisis tincidunt.

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Mauris vel tellus faucibus, iaculis elit quis, semper lectus. Nam ac odio at enim congue malesuada id nec dolor. Etiam dignissim varius orci, id sodales diam volutpat eget. Vestibulum scelerisque posuere dolor id scelerisque. Quisque euismod dignissim felis non blandit. Integer lobortis libero finibus eros interdum consequat. Cras non nunc ultrices, tempus odio eu, fermentum tellus. Quisque sem massa, venenatis a purus eget, bibendum sollicitudin ante. Duis consectetur lobortis augue, at venenatis arcu gravida nec. Nam eu lorem congue tortor volutpat scelerisque quis aliquet augue. Phasellus non dui id metus facilisis tincidunt.

4. Keywords (10 items maximum)

List as many as 10 terms that most likely represent the essence of the proposed research.

1. AAAAAAAAAAAAAA
2. BBBBBBBBBBBBBB
3. CCCCCCCCCCCC
4. DDDDDDDDDDDD
5. EEEEEEEEEEEE
6. FFFFFFFFFFFF
7. GGGGGGGGGGGG
8. HHHHHHHHHHHH
9. IIIIIIIIII
10. JJJJJJJJJJ

5. Publication list (10 items maximum)

List as many as 10 peer-reviewed articles published in English in reverse chronological order (most recent first), and specify the most relevant one(s) with an asterisk(s) ().*

- 1.
- *2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

(様式1)

平成29年度日本医療研究開発機構
再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(疾患特異的iPS細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム)
研究開発提案書

申請機関の長になります。

平成XX年XX月XX日

住所 〒 XXX-XXXX ○○県□□市……………
代表機関代表者 フリガナ
氏名 ○△ ○□
生年月日 19XX年XX月XX日生

- 研究事業名 : 再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(疾患特異的iPS細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム)
- 研究開発提案課題名(公募課題番号) : △△△△の創出を目指した研究 (×)
- 当該年度の計画経費 : XX,XXX,XXX 円(間接経費を含む)
- 研究開発実施予定期間 : 平成29年8月14日から平成__年3月31日までの
()年計画

H29年度のみになります。

5. 研究開発提案者及び経理事務担当者

研究開発提案者

- ①所属研究機関 ○○○○大学
- ②所属部局 △△△学部△△△学科
- ③職名 △△△
- ④所属研究機関所在地
連絡先 〒XXX-XXXX ○○県□□市……………
Tel: XX-XXXX-XXXX Fax: XXX-XXXX
E-Mail: YYY@YY.jp
- ⑤最終卒業校 ○○○大学院
- ⑥学位 博士(△△△)
- ⑦卒業年次 平成XX年
- ⑧専攻科目 ○○○

経理事務担当者

- ①氏名 フリガナ ○△ ○□
- ②連絡先・所属部局・課名
〒XXX-XXXX
○○県□□市……………

Tel: XX-XXXX-XXXX Fax: XX-XXXX-XXXX

E-Mail: ZZZ@YY.jp

③COI (利益相反) 委員会の有無 有 ・ 無

④間接経費の要否 要(千円、計画経費の %) ・ 否

6. 研究組織情報

①研究者名	②分担する研究項目	<ul style="list-style-type: none"> 代表研究者を含めて、「13. 体制図」に対応するようご記入ください 研究協力者については、「研究費配分予定額」の欄を、「0」もしくは「なし」でご記入ください 必要に応じて、適宜枠を広げてください 			⑥研究費配分予定額(千円)
○△ ○□	○○関連解析				XX, XXX
□□ ○○	○○モデル動物の開発と検証	○△○△大学院 昭和XX年修了 △△△博士 ○○○専攻	○○○○大学 △△△学部 △△△ 学科 (○○センター)	○△△	X, XXX

7. 政府研究開発データベース

研究者番号及びエフォート

研究者名	性別	生年月日	研究者番号(8桁)	エフォート(%)
○△ ○□	男	19XX年X月XX日	XXXXXXXX	20
□□ ○○	女	19XX年X月XX日	XXXXXXXX	30

8. 研究の概要

・この行がページの先頭になるように

- (1) 「9. 研究の目的、必要性及び特色・独創的な点」から「14. 倫理面への配慮」までの要旨を1,000字以内で簡潔に記入すること。
- (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の計画と当該事業年度の計画との関係が分かるように記入すること。
- (3) 研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記入又は添付すること。

・流れ図も含めて2頁以内に収めてください。頁を増やした場合に、「9. 研究の目的、～」が続く頁の先頭にくるようにしてください

(流れ図)

9. 研究の目的、必要性及び特色・独創的な点

・この行がページの先頭になるように

- (1) 研究の目的、必要性及び特色・独創的な点については、適宜文献を引用しつつ、1,000字以内具体的に且つ明確に記入すること。
- (2) 当該研究計画に関して現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画、公共研究及び民間研究と当該研究計画の関係を明確にすること。
- (3) 研究期間内に何をどこまで明らかにするかを明確にすること。
- (4) 当該研究の特色・独創的な点については、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入すること。

- ・図や表を挿入して、2~3頁にしても構いません
- ・頁を増やした場合に、「10. 期待される成果」が続く頁の先頭になるようにしてください

1 2. 研究の主なスケジュール

- (1) 目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載すること。
- (2) 「目標：」には、「公募要領 XIII. 公募課題一覧」の各項にある目標を記載すること。
- (3) 「1 1. 研究計画・方法（3）」の記載と対応させること。

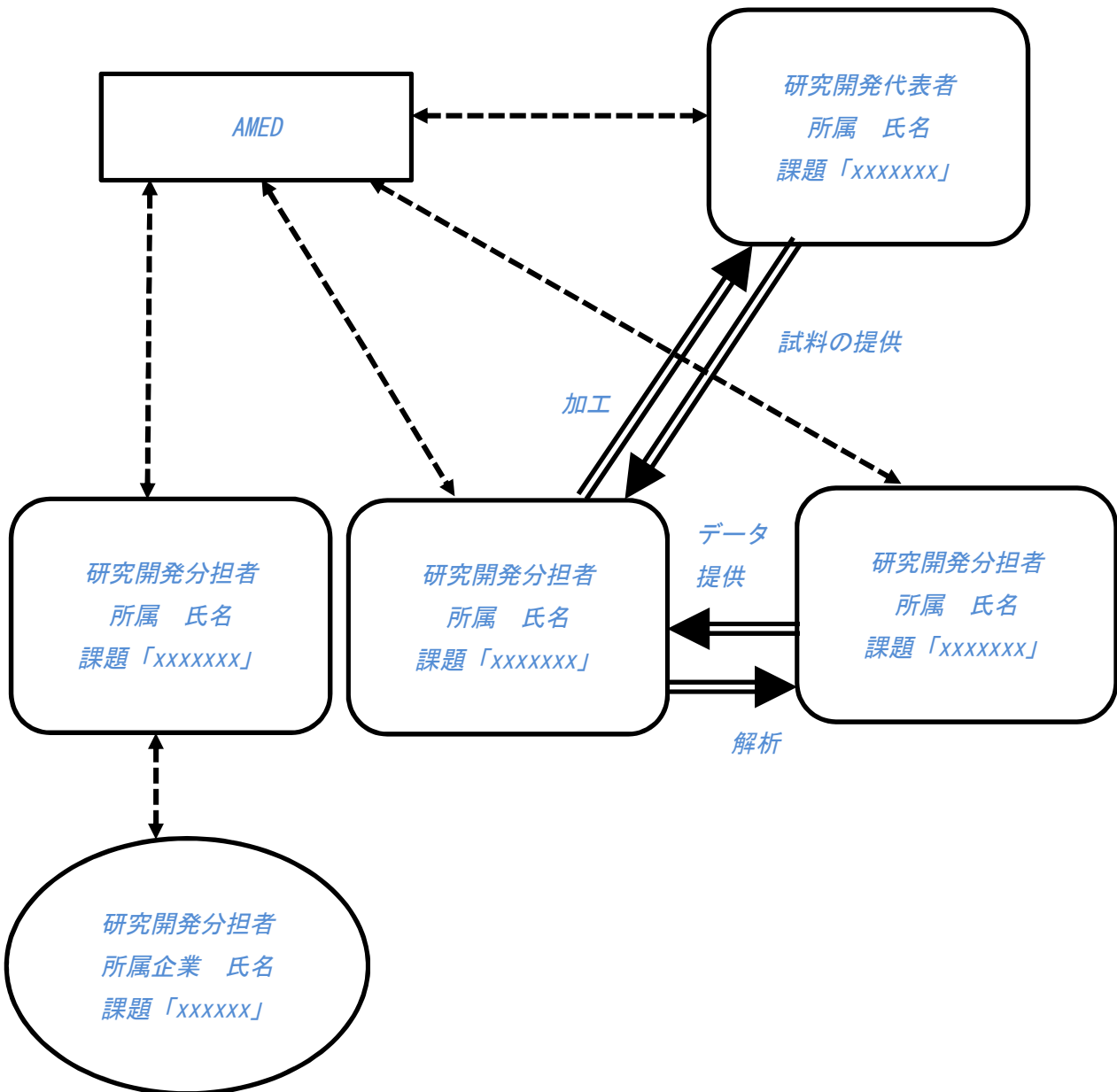
研究開発項目	担当者氏名	H29年度	H30年度	H31年度
1. ○○関連解析 (1) △△の同定 (2) □□の分析	研究開発代表者 ○△ ○□	←————→	←————→	←————→
2. ○○モデル動物の開発と検証 (1) ○○モデル動物の開発 (2) ○○モデル動物の検証	研究開発分担者 □□ ○○			
3. (1) (2) (3)	参考例の水色の文字は消して提出してください			
4. (1) (2)				

目標： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

13. 体制図

代表機関、分担機関の組織、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割が分かるように記載すること。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載すること。

【体制図記載例】



14. 倫理面への配慮

・研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記入すること。

・遵守すべき研究に関する指針等
（研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当するものを全て「■」にすること。）

- 再生医療等の安全性の確保等に関する法律
- 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
- ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
- 遺伝子治療臨床研究に関する指針
- 動物実験等の実施に関する基本指針
- その他の指針等（指針等の名称： ）

・疫学・生物統計学の専門家の関与の有無 有 ・ 無 ・ その他（ ）
「有」の場合は、当該専門家の氏名、所属研究機関名、所属部局名、職名を以下に記入すること。
（ ○○○○ ○○研究所 ○○部 ○○長 ）

・臨床研究登録予定の有無 有 ・ 無 ・ その他（ ）

15. 知的財産権の帰属

■ （希望しない場合は、■を□に変更して下さい）

本研究開発の結果生じた知的財産権を、産業技術力強化法第19条第1項各号に規定する4項目を「国」をAMEDに読み替えて遵守すること、本研究開発結果に係る発明等を行ったときはAMED指定の様式に則った書面にて遅滞なくAMEDに報告すること及びAMEDが実施する知的財産権に関する調査に回答することを約することを条件として、全て本研究開発の受託者である自らに帰属させることを希望する。

16. 知財担当者（お問い合わせする際の御担当者様を記入してください。）

研究成果に係る知的財産の管理担当者

氏名 ○○

所属・役職名 △△△ △△△
E-mail アドレス YYYYY@ZZZZ.com
電話番号 XXX-XXX-XXXX

17. 提案者の研究歴等

提案者の研究歴：

過去に所属した研究機関の履歴、主な共同研究者（又は指導を受けた研究者）、主な研究課題、これまでの研究実績、受賞歴、特許権等知的財産権の取得数、研究課題の実施を通じた政策提言数（寄与した指針又はガイドライン等）

XXXX年 ○○○大学○○学部 ○□
XXXX年 ○○○病院 ○□診療科

<共同研究者>

△○○○教授（○○○大学）
△△○○室長（○○○医療センター）

<主な研究課題>

○○○○○○○に関する研究
○○○○○○○の開発

<研究実績>

<受賞歴>

<特許権等知的財産権の取得数>

<研究課題の実施を通じた政策提言数>

・水色の文字は消して、ご記入ください
・複数頁にわたる場合は、次の「18. 研究者育成について」が続く頁の先頭になるようにしてください

発表業績等：

著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後のページ）、特許権等知的財産権の取得及び申請状況、研究課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）

（発表業績等には、「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去5年間）を選択し、直近年度から順に記入すること。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「○」を付すこと。）

・研究開発代表者 ○△ ○□

<論文・著書>

○M. Marusankaku, J. Aaaa, H. Bbbbbb, A. Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 1, 10-20, 2015
M. Marusankaku, T. Aaaa, A. Bbbbbb, T. Ccccc, Risk factors for Fungal……, Nature, 2, 17-26, 2015

<特許権等知的財産権の取得及び申請状況>

<政策提言>

○○○○○○○ガイドライン（○○学会編 XXXX年）

・研究開発分担者 □□ ○○

<論文・著書>

○M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Hepatitis……, Nature, 12, 32-40, 2015
M. Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T. Ffff, Study on Malaria……, Nature, 10, 45-54, 2015

若手研究者育成候補者の登用を希望する場合は、登用に関する経費（人件費含む）を「若手研究者登用費」欄に記載。詳細は「別添様式2」に記載します。

19. 研究に要する経費

(1) 各年度別経費内訳

(単位：千円)

大項目		中項目	H29 年度	H30 年度	H31 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費				
		消耗品費				
	2. 旅 費	旅 費				
	3. 人件費・謝金	人件費				
		謝 金				
	4. その他	外注費				
その他						
間接経費（上記経費の30%以内）						
若手研究者登用費（間接経費を含む）						
合 計						

(2) 機械器具の内訳（(1)の物品費のうち50万円以上の機械器具については、賃借が可能な場合は原則として賃借によること。）

ア. 借料及び損料によるもの（賃借による備品についてのみ記入すること）

年 度	機 械 器 具 名	賃 借 の 経 費（単位：千円）	数 量
平成 年度			
平成 年度			
平成 年度			

・必要に応じて、枠を増やしてください

イ. 購入によるもの（50万円以上の機械器具であって、賃借によらないもののみ記入すること。）

年 度	機 械 器 具 名	単 価 （単位：千円）	数 量
平成 年度			
平成 年度			
平成 年度			

・必要に応じて、枠を増やしてください

（3）外注費の内訳（（1）のその他のうち外注費について記入すること。）

（単位：千円）

年 度	外 注 内 容	外 注 先	外 注 費
平成 年度			
平成 年度			
平成 年度			

・必要に応じて、枠を増やしてください

20. 他の研究事業等への申請状況（当該年度）

（単位：千円）

新規・継続	研究事業名	研究課題名	代表・分担等	申請額	所管省庁等	イフォート(%)
新規						
継続						
申請中						

- ・研究開発提案者について、実施中もしくは申請中の課題をご記入ください
- ・必要に応じて、枠を増やしてください
- ・他事業等に申請中の場合は、「新規・継続」欄に「申請中」とご記入ください

21. 研究費補助等を受けた過去の実績（過去3年度分）

（単位：千円）

年度	研究事業名	金額	所管省庁等
H26~H26		総額	
H27~H28			

- ・研究開発提案者について、平成26年度～平成28年度に終了した（する）課題についてご記入ください。
- ・必要に応じて、枠を増やしてください
- ・「年度」欄には実施期間について開始年度および終了年度をご記入ください
- ・「金額」欄には全研究期間を通じて受けた支援総額をご記入ください

22. 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第18条第1項の規定により補助金等の返還が命じられた過去10年間の事業
（単位：円）

年度	研究事業名	研究課題名	補助額	返還額・返還年度	返還理由	所管省庁等

- ・研究開発提案者について、ご記入ください
- ・必要に応じて、枠を増やしてください

- ・必要に応じて、頁を増やしてください

(別添様式1)

再生医療実現拠点ネットワークプログラム
(疾患特異的 iPS 細胞の利活用促進・難病研究加速プログラム)

若手研究者育成活用事業

履 歴 書

平成 年 月 日作成

氏名	フリガナ			写真
	漢字	印		
	ローマ字			
生年月日	S・H 年 月 日 (作成日現在 歳)			
本籍地		性別	男・女 (該当する方に○)	
連絡先	連絡先電話番号： E-mail：			
学歴				
職歴	(博士の学位を取得されていない者は、発表論文、研究歴等により採択の審査を行うので、詳細に記入してください。)			
研究歴				
学位	(該当番号に○) 1. 医学博士 2. _____博士 3. _____博士 (20 年 月取得見込み/20 年 月提出済み) 4. なし			

若手研究者候補者の現在の研究指導者

氏 名：〇〇 △△

職 名：〇△教授

所属機関：〇〇〇大学〇〇学部

若手研究者候補者の研究実績

（「若手研究者候補者の研究実績」については、このページを含み3ページ以内で記載してください。）

(1) 要 旨

・(1)～(3)のスペース配分は適宜変更してください

(2) 最近3年間に学会誌等に発表した論文 (Publication List)

(博士の学位を有しない者であるときは、発表論文、研究歴等により採択の審査を行うので、詳細に記入してください。)

(3) 若手研究者として行う研究の計画

(研究開発代表者の研究課題との関連についても併せて記入してください。)

(別添様式2)

若手研究者育成計画書

平成 年 月 日

※1 課題あたり1名の育成計画書を作成し提出してください。

1. 研究開発提案者

- フリガナ
氏名
- 研究開発提案課題名
- (公募課題番号)
- 当該年度の計画経費 円 (間接経費含む)
- 当該年度の研究事業予定期間: 平成 年 月 日から平成 年 月 日
()年計画の()年目
- 所属研究機関・部局・職名

2. 若手研究者採用候補者及び研究指導者

- 候補者氏名
- 研究指導者氏名
- 研究指導者の所属機関
- 研究指導者の代表/分担の別

3. 若手研究者の登用に要する経費年度別内訳 (若手研究者登用費内訳)

(単位: 千円)

費目		平成	年度
直接経費	物品費		
	旅費		
	人件費		
	謝金		
	その他		
	直接経費合計		
間接経費 (直接経費の30%以内)			
総計			

※若手研究者登用費: 人件費(基本給、諸手当、社会保険料等の事業主負担分)、学会参加費、学会参加旅費、発表資料の作成に要する経費、研究環境の整備に要する消耗品費

※若手研究者の研究に要する経費は基本経費(研究開発の内容に係る経費)に計上してください。

※原則、若手研究者登用費のうち人件費は他の経費へ流用することはできません。

※若手研究者を直接雇用することができない国及び地方自治体の施設等機関等において若手研究者の登用を申請する場合は、AMEDにおいて雇用手続きを行うため、1名当たりの経費は一律6,000千円を計上することとし、人件費に記載すること。

※若手研究者の登用期間は、原則として1年以内とします。ただし、対象となる研究開発課題の継続実施が認められ、かつ、当該若手研究者の研究成果が良好と評価され引き続き採用する必要があるものと認められた場合は、研究開発実施期間を上限として1年以内ごとに登用期間を更新することができます。

4. 若手研究者の育成計画

※受入れ機関の研究開発提案課題との関連が分かるように記載すること。

基礎、臨床、疫学等研究分野において、〇〇研究の人材ニーズに対応するため、若手研究者の育成・活用に係る取組みについて、A4一枚で記載してください。

5. 過去3年間の若手指導実績

受入年度	指導を受けた者の氏名	研究指導者氏名	研究指導者の所属機関	研究指導者の代表／分担の別
平成 年度				
平成 年度				
平成 年度				
平成 年度				
平成 年度				